

# 白い雲

弁護士 伊藤茂昭 季刊通信

## CONTENTS

- ・新年のご挨拶
- ・「弁護士は増えたけど、〇〇は〇〇だ」
- ・東日本不動産流通機構について
- ・「白い雲Web」で振り返る2012年
- ・宝塚歌劇〜100周年を控えて〜
- ・シティユーワ法律事務所のご案内
- ・「白い雲Web」リニューアルしました

2013年 新春

58号



辰野金吾設計の東京駅。保存復元工事が進められ  
10月1日にグランドオープン。

## 新年のご挨拶

# “100年”の歴史に思いをはせて

白い雲58号をお届けします。今年は2013年、大正元年(1912)から101年目です。

さて100周年といえば、事務所の近くの東京駅丸の内駅舎。そして私の父も今年100歳。来年は宝塚歌劇団が100周年を迎えます。

100年という一つの歴史を感じます。100年前は大正デモクラシーの始まりの時代、世界の民主主義思想の高まりと政治革命のうねりの中で、日本においても新しい自由な時代でした。しかし、それに続く第二次世界大戦、昭和には「ヒロシマ・ナガサキ」がありました。そして2011年の「フクシマ」です。100年後、私

たちの生きた時代はどのように評価されているのでしょうか。

科学に対し、自然に対し、日本人も、人類も、決して傲慢になってはならないと思います。今の地球に生を受けたもの一人として、自分に正直に生きて、本当にちっぽけな力でも子孫のために、少しは住みやすい世の中にしていきたいと思っています。

新しい年が、皆様にとっても心穏やかに過ごせる日々であることを願ってやみません。



丸の内南口のドームの天井。毎日観光客がカメラを天井に向けている。

2013年1月 弁護士 伊藤茂昭

依頼者・相談者の視点で考える

## 「弁護士は増えたけど、〇〇は〇〇だ」

新しい法曹養成制度が開始して7年ほど経過しましたが、弁護士数は2001年の約1万8千人から、約3万1千人を超え、この10年で約1万3千人も増加しました。

そこで、この「弁護士は増えたけど、〇〇は〇〇だ」というタイトルの謎かけですが、皆さんは何と入れるでしょうか。若手の弁護士は、「弁護士は増えたけど、『弁護士の仕事がない』」とか、裁判所改革を重視する人は「弁護士は増えたけど、『裁判官は増えていない』」とか、いろいろあると思います。この二つはいずれも弁護士から見た視点です。司法改革は、依頼する側、相談する側から見てどうかという目線で見ること重要です。その場合「弁護士は増えたけど、『まだまだ弁護士過疎地がある』」など、いくつかの回答があるかと思いますが、私は耳を傾けなければならない重要なものの一つに「弁護士は増えたけど、『専門がわからない』」ということがあると思います。目が痛ければ眼科、耳が痛ければ耳鼻科、医者の場合はこれが普通です。都内の商店街、住宅街を控えた駅前にはそんな看板の医院が並びます。一方、弁護士はそんな状況にありません。

依頼者は具体的な分野での相談を考えています。分野が特定できず、法律相談一般という方はほとんどいません。たとえば、離婚、相続、不動産取引、借地借家、建築紛争、医療事故などこれらの相談を希望する方は、これらの分野について一般の弁護士に比べてより経験を持った専門的な能力のある弁護士に相談・依頼したいと考えるでしょう。しかし、これらの期待に沿うようなアクセスの体制は制度として十分とられておらず、アクセス障害が



放置されたまま、弁護士の側の対応は遅れております。私は、早期に整備してゆく必要があると考えています。

日弁連において私の所属している業務改革委員会では、かなり長期にわたって専門認定制度、専門登録制度などを提案し議論してきましたが、日弁連全体では「時機尚早」とか、「専門表示をしたらそれ以外の相談が来なくなる」とか、「必要性を感じない」とか、「弁護士会が専門認定をした弁護士が過誤をおかしたら弁護士会は責任をとれるのか」などの反対論があって、いまだ実現しておりません。

全員加盟制の弁護士会で困難であれば、医者の学会のように、任意の学会を立ち上げ、その認定を自由に広告することを認めるのも一案でしょう。特に都市部での対策は重要です。

弁護士の専門表示について読者の皆さんはどう考えますか？ご意見があればお聞かせください。メールやファックスで伊藤あてお寄せいただければ幸いです。

適切で円滑な不動産売買・賃貸のために

## 公益財団法人東日本不動産流通機構について

皆さんが不動産を売買したり賃貸したりするときに不動産会社に仲介を依頼しますが、その場合の物件情報は業者が加入しているレインズ (Real Estate Information Network System) と呼ばれるネットワークシステムにより登録・検索されています。

このシステムは全国で東日本、中部、近畿、西日本と4地域に分かれて運営されており、私が平成9年から監事をしております東日本不動産流通機構では、現在約6万5000社が加入しています。



平成24年度上半期の売買物件の登録数は33万件、賃貸物件の登録数は104万件で、加入業者からのこのネットワークへのアクセス総数は半年で1億5700万件に上り前年比15%増加しています。

今や、このシステムが日本の不動産流通を支えており、このシステムがダウンしたら、不動産取引がストップしてしまいます。

その役割の重要性に鑑み、昨年、不動産情報交換事業と流通市場および流通機構制度に関する調査・研究・公表の二つを公益事業目的の柱として財団から公益法人への移行をすませ、現在、内部規定等の整備などを行っています。

さらに将来のシステム利用のさらなる拡大や登録・検索手法の多様化等に対応するため、システムの充実へ向けて中期事業計画を策定中です。

国民の皆さんが不動産の売買・賃貸に臨むにあたって、業者を通しての情報がより適切により円滑に皆様のもとに届くよう機構内部の役員や職員の皆さんと共に引き続き努力したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 「白い雲Web」で振り返る2012年

本紙の兄弟版として、「白い雲Web」を開設しています。Webでは、私の日々の活動、劇評、その時々思いなどを紹介しています。ぜひアクセスしてみてください。

詳しくは白い雲Webにて

伊藤茂昭

検索

[www.shiroikum.jp](http://www.shiroikum.jp)



12月11日 丸の内のクリスマス  
12月になりますと、あちこちでイルミネーションが輝きます。丸の内も例外ではありません。



11月5日 マッサージ器と活動量計  
メールで連絡していた事務所への到着時間に合わせて秘書の皆さんが集合、一日遅れの誕生日プレゼントをいただいた。



10月14日 奥多摩清流散歩  
東京弁護士会法友会の政策合宿が1泊2日の日程で奥多摩清流の宿「おくたま路」にて行われた。



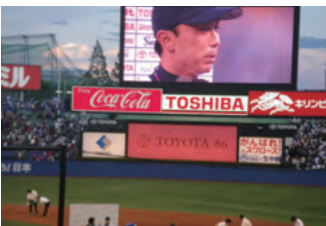
8月16日 ななこ  
冷たい雨が降っている朝、起きて庭をみると、ほんとに小さな子猫が冷たくなって倒れていました。



7月25日 スカイツリーと東京タワー  
5月のある日、隅田川ほとりを歩きました。対岸から眺めたスカイツリーです。



7月16日 箱根旧街道ハイキング  
法友会旅行総会の翌日はハイキング。畑宿での奇木細工体験で、私は子猫の作品を作りました。



5月5日 祝 宮本選手2000本安打  
ヤクルトの宮本選手が2000本安打達成した日、神宮球場でその瞬間を見ました。



4月6日 シティユウパウリング大会  
インドの法律事務所との提携で業務に当たっていたカティ弁護士の送別もかねての大会でした。



3月13日 ふるさとから夢を持って巣立つ  
母校の新潟県立高田高校の「未来展望セミナー」で、高校生1年生を相手に講演を行った。

## 宝塚歌劇 ~100周年を控えて~

宝塚歌劇団は2014年4月に初演から100年を迎え、1世紀の歴史を持つ劇団となる。100周年を翌年に控え、2013年は「ベルばら」が話題である。また柚希礼音を中心とする星組による台湾公演も行われる。さて、ベルばらであるが、まずはもっとも基本的な作品のオスカルとアンドレ編は、月組の龍真咲と明日海りおの役替わりで東京は2月~3月に上演される。1か月おいて、雪によるフェルゼン編が上京する。新トップ壮一帆のフェルゼンに期待したい。そして満を持して名作ロミオとジュリエットにトップ中のトップ星組柚希礼音が登場する。このように例年にもまして話題のステージが続く。そして日本の誇る文化である宝塚の隆盛を期待したい。

一方、心のどこかにちよっと感ずることがある。この数年、演目数が多く回転が速い。東京宝塚劇場を例にとると、以前のベルばらが上演されたところは公演期間が45日か46日だった。昨年は、正月公演と38日だった復活を除いては、すべて31日公演である。今年は正月公演以外でも、「ベルばら」は38日とやや期間が延びている。でも星のロミジュリが31日とは短い。もう少し、全体を長くして回転を緩め、ゆとりを持たせた方がよいのではなかろうか。また宝塚大劇場と東京公演の間も4日ではなくもう少し間隔をあけて作品をバージョンアップするなどすれば、もっとも素晴らしい宝塚作品が生まれてくるのではないかと。100周年を控えてさらに充実した宝塚歌劇団とするために、関係者の検討を期待したい。(シゲニー・イトン)



詳しくは白い雲Webにて

伊藤茂昭

検索

[www.shiroikum.jp](http://www.shiroikum.jp)

# シティユワ法律事務所のご案内

120名を超える弁護士が、企業法務、金融・証券・保険、M&A、事業再生・倒産、訴訟・紛争解決、知的財産・IT、労働法、国際取引、独占禁止法、刑事、相続・親族法など、あらゆる分野にわたって総合的に事案を扱っています。



個人のお客様から、中小規模の企業、店頭公開会社、上場会社、多国籍企業まで、幅広い皆様の法律業務のサポートを実施しています。

皆様のどのようなニーズでも私宛にご連絡ください。お話をお聞きし、事務所でその分野でもっとも強い専門の弁護士をご紹介します、皆様のサポートをいたします。

弁護士 伊藤茂昭  
主要取扱分野

- ・不動産取引
- ・建築紛争
- ・借地借家
- ・会社法関係
- ・相続・遺言

お問合せ・ご相談は

電話  
03-6212-5503 (直通:秘書が出ます)  
03-6212-5500 (代表)

メールアドレス  
shigeaki.itoh@city-yuwa.com

詳しくは白い雲Webにて

伊藤茂昭 検索

[www.shiroikumo.jp](http://www.shiroikumo.jp)



CITY-YUWA  
PARTNERS

## シティユワ法律事務所

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-2-2

丸の内三井ビル(受付7F)

Tel 03-6212-5500(代表)

Fax 03-6212-5700

URL [www.city-yuwa.com](http://www.city-yuwa.com)



アクセス: 東京メトロ千代田線「二重橋前駅」4番出口から0分 / 東京メトロ丸の内線「東京駅」4B出口から約4分 / JR「東京駅」丸の内南口から約4分 / お濠にそった(日比谷通り沿いの)茶色のビルです。

## 「白い雲Web」リニューアルしました

昨年12月に今までのWebをリニューアルしました。ツイッターなどと同じように、開くと最新のエントリーから読むことができるようにしました。できるだけ写真も交え、宝塚の記事など弁護士という職業に拘らない記事をも掲載していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

詳しくは白い雲Webにて

伊藤茂昭 検索

[www.shiroikumo.jp](http://www.shiroikumo.jp)



### 編集後記

第58号は57号に続き新年号となりました。年一回の発行ですと季刊ではなく、年刊ですが、まあ「ある季節」に出ると読み替えて許してください。そういえば、つい10月までクールビズでノーネクタイの人が多かったのに、秋がなくて11月からコートを着るような寒さ。四季ではなく二季になってしまったようです。その代わりといっは何ですが、「白い雲Web」には宝塚のことなども書いていますので、「伊藤茂昭」で検索してクリックしていただければと思います。今後でも愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(伊藤 茂昭)

季刊「白い雲」通刊58号 2013年1月発行 / 発行人: 弁護士 伊藤茂昭 / 編集・制作: 株式会社創林社 / 印刷: 神谷印刷株式会社